



マスク依存と熱中症予防と自己決定力

校長 濱田 津世志

新型コロナウイルスの流行から2年以上が経過、マスク生活も長期化しマスクをおしゃれの一部として楽しむポジティブな側面も見受けられます。一方で、若者を中心にマスクを「顔パンツ」と例え、「マスクを外して顔を人前にさらすのは恥ずかしいから、コロナ禍が終わってもマスク着用を続けたい」という声もあるようです。人の脳は見えている部分から隠れている部分を想像する時、バランスのいい形を思い浮かべるため、素颜よりも顔の一部を隠した方が美しいと感じる人が多いそうです。ですが、マスクへの依存度が高まると、自分の顔が醜いと思ひ込む「醜形(しゅうけい)恐怖症」や、他人との会話に恐怖や不安を感じる「社交不安症」につながる恐れがあるそうです。

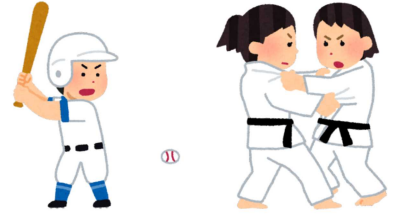
文科省はマスク着用に関する見解を示し、屋外や屋内でマスクを外せる基準を明確化しました。本校保健だより6月号にも関連記事が掲載されています。しかし、行動制限の緩和は進みますが、前述のようにかつての日常に戻ることに困難を感じている人も少なくないのではないのでしょうか。今後更に気温・湿度や暑さ指数が高くなる中で生徒がマスクを着用することで、命に関わる重大な症状である熱中症のリスクが高まるおそれがあることから、学校ではマスクの着用が不要な場面では、各自で判断しマスクを外すよう指導しています。

人生は、判断と決断の連続です。特に情報過多の時代、圧倒的に増えた情報に振り回されずに生きるためには、自分なりに決める力が求められます。今は、自己決定力を高めるよい機会なのかもしれません。適切なマスク着用場面について、御家庭でも話題の一つに取り上げててください。

地区総体結果

- ◎野球
財部7-4大崎
準決勝
財部2-7末吉
- ◎バレーボール
財部0-2大崎
財部0-2大隅
- ◎バスケットボール
財部51-49志布志
財部35-77末吉
- ◎柔道
団体男子：優勝(県)
団体女子：優勝(県)
個人戦
優勝：3年 岡元 遥輝(県)
優勝：2年 塗木 達人(県)
優勝：2年 井上 拳斗(県)
優勝：2年 鮫島 実柚(県)
優勝：1年 川畑 龍翔(県)
優勝：1年 川畑 楽翔(県)
2位：1年 川添 晟煌(県)
- ◎卓球
団体男子：5位
団体女子：4位
個人男子
優勝：2年 園田 泰生(県)
2位：3年 岡崎 湊(県)
2年 上鶴 歩(県)
個人女子
優勝：3年 中津 愛恋(県)
3年 中武 里桜奈(県)
3年 高井田 妃奈(県)
1年生の部女子
優勝：中津 結愛
- ◎バドミントン
個人男子 瀬戸口 絆
財部10-根占21
県大会が7月23日(土)・24日(日)陸上競技、7月26日(火)・27日(水)の柔道、卓球と続きます。それぞれの大会でベストを出せるように御声援、御協力をお願いします。

- ◎女子ソフトテニス
団体戦：5位
個人戦：上之園・渡邊ベスト8
境・東園ベスト16
赤塚・大山予選3位
**・妹尾予選4位
内村・松田予選4位



財部地域小・中連絡会 6月20日

財部地域の児童生徒の健やかな成長を願い、小・中学校で共通の実践事項に取り組んでいます。

【共通実践事項】

- 1 授業態度五則、授業中の机上のルール
- 2 家庭学習の段階的な習慣化(低学年⇒中学年⇒高学年60分以上)
- 3 挙手による発表及び根拠に基づいた発表
- 4 自力登校の推進
- 5 メディアコントロールの推進及びSNS等の使い方(規則正しい生活習慣)
- 6 特別支援教育に対する理解



5時間目の授業を小学校の先生方が参観されて「小学校の時から成長を感じました！」とのこと。その後の分科会では、それぞれの学校の情報交換が行われ、財部地域の学校の連携について話し合いました。

2・3年生 健康教室～薬物乱用防止～

6月27日に曾於ウィルから講師をお招きして、2・3年生を対象に薬物乱用防止教室が行われました。実際に薬物依存症を経験した3名の講師の方々のお話を聞く機会になりました。実体験から伝えられる、たった1回の使用の恐ろしさと、講師の方々を経験された苦しみや悲しみをすることで、教科書では学べない薬物依存の闇について考えることができたようです。

講師の方々の実験談に共通していたことは、「薬物に依存して一番辛かったことは、家族を悲しませたこと」だそうです。1時間の最後に、保体部長の岡崎湊さんがお礼の言葉と感想を伝える場面がありました。岡崎さんの「薬物依存は怖くて、寂しいものだと感じた」という言葉が印象に残っています。



設営コンクール開催

6月3日(金)に校内設営コンクールが開催されました。4月から各クラスで取り組んできた学級設営の出来栄を競うコンクールです。各クラス、テーマカラーをもとにそれぞれの設営物を制作していきました。3年生の経験が光り、金賞3年2組、銀賞3年1組という結果となりました。

金賞 3-2

銀賞 3-1



5月のいじめアンケートの結果

5月の1か月間を通して、学校生活でのいじめの実態をアンケートで調査したところ、アンケート調査時現在で本校でいじめによるつらい思いをしている生徒は【0】でした。友達との関わり方で悩むことはあるようですが、いじめで苦しんでいるという生徒はいないようです。

ただ、「いじめアンケートには記入しなかったが、本当は友達やクラスの中でいじめによる苦しい思いをしている。」という人がもし、いるのであれば担任や保健室の先生、または話しやすい先生、保護者の方、その他相談しやすい大人、または相談機関にいつでも相談してください。

